



幼稚園の今昔

—— 静岡県に於ける幼稚園界 ——

林 成 子

日本で幼稚園が開設された順位では静岡県が第四位であるときいた。それ程静岡県の幼稚園界は永い歴史を有している。その当時私の実母、故宇式かんが、静岡市立静岡幼稚園の主任保母をしていた。(静岡幼稚園は戦災により焼失現在はない)明治三十年頃私の幼稚園時代の記憶をたどってみると覚えている事は、

1、楽 器 八雲琴(二弦琴ともいった)で伴奏していたが間もなく、オルガンが壱台購入され珍らしかった。

2、唱 歌 風車、蝶々、鳥が木にとまった等はよくうたったが、中には短音階調のものも大分あったように覚える。

3、遊 戯 大体に於て実に簡単であった。

4、お細工物(製作) 一例

○縫取 沢山穴のあいているものを線で連ねた処を辿って色糸を針にさして縫うかなり複雑したものであった。

○南京玉つなぎ 小さいいろ／＼の色の南京玉を色どりを考えつつなぎそれを又蝶々や花や鳥などの形につくった。

○貼方 先生のお手本の通りに色も形も貼るといふ殆んど模倣であって、自由に思うまゝに工夫して自分の考えで貼るといふ事は稀であった。

5、先生の服装 日本髪 和服で帯をしめていた。明治三十二、三年頃私の小学校時代頃から先生の髪は日本髪でなく少々変って来て服装は袴を着けた。しかし保育の内容は大して変わってはいなかつたと思う。

時代は流れて大正三年頃静岡県保育会が結成されたらしく、年一回乃至二回、一堂に会して研究して来て終戦前迄は静岡県保育会の名のもとに活動して幼稚園教育に関する理論並に実際の研修或は講習会、講演会を開催して幼稚園も保育園も一緒に睦まじく幼児教育道に進んで来た。しかるに戦災の為に静岡県下殆んど休園又は閉園となつたので終戦の翌年昭和二十一年二月保育会の復活を思いたち出来る限り連絡してその趣意を伝えた処、折あしくその当日暴風雨であつたにもか、わらず、熱心に静岡浅間神社に参集し、神前に於

て再び静岡県保育会が復活し仲よく相携えて研究して来たが、いつしか幼稚園と保育園の間に特別にはたきかけるような機運が起つて来たので、つとめて一本建に従来通り進行するよう努力し、静岡県保育会を静岡県保育連合会と改称し出来る丈双方の融和を図つて来た。さながら社会の風の吹くまゝに遂に幼稚園と保育園は別々に行動するようになり、二つの保育連合会も新しい姿となるべく、昭和二十七年四月の総会に於て静岡県幼稚園連合会と名称を改め、その会の組織は静岡県国公立幼稚園協会と静岡県私立幼稚園協会の二つの協会の連合体として、それぞれその特色に生きながら静岡県幼稚園連合会の名のもとに一丸となつて、幼稚園教育の健全な発達をなさんことを期して精進し、現在の姿となつてゐる。尙本連合会は研究親睦に便ならしめる為東部、中部、西部の三支部に分ちそれぞれ左のように活動してゐる。

年一回静岡県幼稚園連合会総会を開催

連合会

年一回静岡県幼稚園大会並に幼稚園認定講習会(三日間)幼稚園認定講習は県教育委員会主催のもとに行われ受講者は試験の上保育内容一単位取得する事が出来る。

◎この幼稚園大会並に幼稚園認定講習には七〇〇余名の幼稚園教員の九割強が出席し熱心に真面目に研修する。

尙連合会としては実力養成の為の講習会、講演会も開催する。

国公立幼稚園協会)それぞれ総会、協議会、研修会、懇談会を開く。私立幼稚園協会)催その性格、特徴を發揮して行動してゐる。

東部支部・中部支部・西部支部

各支部毎に総会、協議会、懇談会、研修会等を開催する。

小部会

静岡清水幼稚園協会、志太郡志幼会、富士郡幼稚園研究会の如く小さい地域々々で集つて郷土に即した保育の研究をしてゐる。

静岡県は国公立合計約一六〇の幼稚園を算し施設数に於て全国で第五位であるといわれている。

富士の麗峯を仰ぎ海に山に温泉に、産物に気候に恵まれているので、永い歴史の上からも幼稚園教育も静岡県というよい郷土で益々幼稚園教育の本質に即し目的目標の達成にむかつて精進している。

本県に於てはまだまだ各地に沢山幼稚園が設立されようとしている。誠に結構な事ではあるけれども幼児期の教育が重要視されていながらも設備その他に於てその実現はまだまだ充分という処迄出来ていないからその点に大に考慮を払い幼稚園教育の真使命に向つて行くように希望してゐる。この設置規程に達する迄には、よほどの努力を要するので前途尙程遠しの感がある。

幼児には幼児期独特の社会がある。一生に二度とかえられない人生の土台となる大切な教育をしなければならぬ。しかるに、この重要な時代をあづかつて指導する教師の点に眼を放つ時、どうしても教師の質の向上をはかる為、幼稚園教員養成機関を静岡大学教育学部に設置してほしいと目下請願中である。

幸本県当局各関係課が幼稚園教育に対しよき理解者となり、援助者となつて、力を副えて下さるので、実に感謝の外なく、又静岡大に於ても、この線に理解をもつて下さるので、必ず近き将来に私共の希望は遂げられると信じてゐる。

右の外静岡県教育委員会で幼稚園長研修会を静岡県弘報文化課で私立幼稚園の設置者と園長の研修会を開催して幼稚園の経営管理等

について正しい在り方を学ぶよう指導されている。以上は概要で本県幼稚園界の活動状況と伸び行く姿の現状の一端を述べたに過ぎないけれども今後益々本県下幼稚園は各々幼稚園教育の正しい発展と充実を期すべく懸命の態度で進んで行くこととしている。

次に少しく私の幼稚園の現在の姿を述べさせていたゞくことを御許したゞきたい。

当桜花幼稚園は創立四十四年となる。創立三十六年目昭和二十年六月戦災に会い全部灰と化したのが、焼土に立って本園の復興を決心した時、私の還暦の年、八年後には第一期の完成をと祈念し、必ずその希望を遂げんものと心に誓った。そして本年迄八年間あらゆる事情と困難を克服しつゝ、保護者並に有志者の理解と涙ぐましい甚大なる後援によって、昨年から本年にかけて新築、増築、改築（終戦直後の建物）をなし、どうやら希望を達した。而して建築や設備に關しては実家としての幼稚園経営三十九年の永い経験から何とかして望ましい設備の幼稚園、幼児達が楽しく愉快に経験生活を暮される幼稚園にと、研究に実施に余念なかつた。

幼児はなか／＼、理論通りに又こちらの思うようには行かないから、自然に無理なくよい方向に行動して行くよう、よい躰が身につけて行くように、設備のよい環境に住はせ度意を注いで来た。そして私の三十九年の幼稚園教育の経路は現実のことも、現実の社会をとらえて幼児の生活の眞実の姿をながめ絶えず新らしく正しい指導をと、研究に暇がなかつた。即ち幼児の特種性を生かし集団生活の場に於て、その経験生活を通して幼稚園教育の目的目標を達成したいこうとつとめてきたからである。又たとえ、どんなよい教育計画

が立てられても、いくら一生懸命に教師が努力しても正しい幼稚園教育の姿が家庭や社会に認識され理解されなくなつたら、その努力にたいし発展がおそく、幼稚園教育の効果も挙がらないので、私は幼稚園教育の本質をしつかり行かう為には、家庭との連絡並に協力を図る事であると思ひ毎月その月の幼稚園の保育精神と指導の要点を具体的に記して家庭へ通知して理解し協力してもらつてゐる。尙カリキラムは教師一人々々が受持ちの子供の成長発達に即して立て、保育内容の研究は勿論、細かい点に迄心をくだいて、自発性を發揮させながら表現力、創作力が伸びて行くように、社会性が養われて行くように、よい習慣が身につくようにとつとめてゐる。

根の教育がしつかり出来てゐるならば、いつか、それが必要に応じて必ず芽を出して来る。私の幼稚園の庭の草木は戦災の折悉く焼けてしまつた。もう生えて来ないと思つたのに、雑草迄見事に芽を出したので、その根の力の強さに驚いた。幼稚園時代は根の力を養う時期であるから、自然の眞理と同様、将来を楽しみに、誠の愛と希望と研究を湛えて、時代に即した正しい保育のもとに、すべてが幼児の日常生活に溶け込んで、円満に、知らず識らずの間にいろいろの指導点が養われ幼児が幸福に、よりよく育つて行くようにとひたすら折つてゐる。

本年五月十三日、学制八十周年を迎えるに際して永年勤続により表彰の榮に浴し深い感激に満たされた。この光榮と感謝に報ゆる為四十一年の教育経験を生かし、更に更に幼稚園教育にさゝげる意を固くしている。終りに今後尙一層皆様からの御指導を御願して己まぬ次第である。

（私立静岡桜花幼稚園長）